

### Ⅲ 連 携 協 力 事 業

## 宮崎市教育委員会との連携協力

宮崎市教育委員会との平成27年度連携協力事業については、以下のとおりである。

### 1 宮崎東中学校における英語学習アシスタント活動（長期：半年間）

教員を目指している4年生が、卒業後、不安なく教壇に立てるよう、昨年引き続き半年間、英語学習アシスタント活動を行った。

(1) 総 数 5名（4年生 5名）

(2) 活動期間 半年間

### 2 宮崎東中学校における英語学習アシスタント活動（長期：1年間）

教員を目指している3年生が、教育実習前の中学校での学校体験として、平成26年度から英語学習アシスタント活動を行った。

(1) 総 数 8名（3年生 8名）

(2) 活動日数 1年間

### 3 大宮中学校における英語学習アシスタント活動（長期：半年間）

教員を目指している4年生が、卒業後、不安なく教壇に立てるよう平成27年度から英語学習アシスタント活動を行った。

(1) 総 数 4名（4年生 4名）

(2) 活動期間 半年間

#### 4 大宮中学校別室登校生徒への支援活動（長期：1年間）

学校から別室登校生への支援依頼があり、教職課程を履修している3年生を中心に、別室登校生の学習指導や悩み相談等の支援を行った。

- (1) 総 数 5名（4年生 1名、3年生 3名、利目等履修生 1名）
- (2) 活動期間 1年間

#### 5 第9回ひむかかると競技大会

平成28年2月13日（土）宮崎公立大学体育館において開催した。

- (1) 目 的 宮崎の文化、歴史、産業、風土、偉人などを綴った郷土かるたの競技をとおして、若年層を対象に地域についての知識と愛情を育み高揚させることにより、「ふるさと・みやざき」のイメージを再生創造する。

子供たちが一堂に集うことで親ぼくと友情を深め、競技を通して礼節を学び、新しい時代を生きる子供たちの健全育成に資することを旨とする。

- (2) 主 催 ひむかかると協会
- (3) 共 催 宮崎公立大学、宮崎市教育委員会
- (4) 後 援 宮崎県教育委員会
- (5) 協 賛 宮崎中央ロータリークラブ
- (6) 競技種目 団体戦・個人戦
- (7) 参加資格 県内小学校に在籍する小学生

詳細は 91ページに掲載

## 6 その他の活動

### 宮崎西中学校における学校支援ボランティア

① サマースクール支援（夏季休暇中）： 23名参加

夏休み期間中のサマースクール（学習会）において、教職課程を履修している学生が中学生への学習支援を行った。

② 英語検定二次試験面接指導

英語検定を受験する生徒を対象にした二次試験（面接）の指導に、教職課程を履修している学生が面接官役になって指導を行った。

(1) 11月： 22名参加

(2) 2月： 11名参加

### <宮崎県教育委員会主催事業>

#### スクールトライアル事業への参加（短期：3日間）

昨年度に引き続き、教員を目指す2年生に対して、教育実習とは別に、教員の業務に対する理解や子どもとのコミュニケーションを図る機会を提供した。

(1) 総 数 15名（2年生 15名）

(2) 受入学校 県内の中学校、高等学校

(3) 活動日数 3日間

行事名	第九回 ひむかかると競技大会
目的	宮崎の文化、歴史、産業、風土、偉人などを綴った郷土かるたの競技をとおして、若年層を対象に地域についての知識と愛情を育み、高揚させることにより、「ふるさと・みやざき」のイメージを再生、創造する。
実施日時	平成 28 年 2 月 13 日（土） 午前 9 時～午後 4 時
会場	宮崎公立大学 体育館（宮崎市船塚 2 丁目 184 番地）
主催	ひむかかると協会
共催	宮崎公立大学、宮崎市教育委員会
後援	宮崎県教育委員会
協賛	宮崎中央ロータリークラブ
競技種目	個人戦、団体戦
参加資格	小学生の部 県内在住の小学生 幼児の部 市内保育園児・幼稚園児
参加学校数 (チーム)	19 小学校より、団体戦、個人戦合計 133 名。
参加者数	小学生選手 133 名。 来賓、観客も含め約 300 名。
参加者負担	(参加料) 無料
資料等	団体戦各小学校 3 チーム、個人戦 3 名までとする。
競技方法	団体、個人それぞれ当日抽選を行い、予選はリーグ戦、決勝はトーナメント戦にて行う。
競技規則	別に定める「ひむかかると大会競技規則」による
審判	競技規則に基づき公認審判員が努める。
表彰	1～4 位を上位入賞者とし、表彰する。また参加選手全員に参加賞を授与する。

## 【競技のもよう】

- ・小学校の部には、市内 19 校から団体戦、個人戦合わせて 133 名の児童が参加し、盛況のうちに無事大会を行うことができた。これは小学校の部としてはこれまでで最多の参加選手数である。



- ・午前 9 時 30 分より開会式が行われた。来賓として本学より鈴木和彦企画総務課長（理事長代理）、学外より二見俊一宮崎市教育長、宮崎中央ロータリークラブ・香川美穂子副会長（会長代理）が臨席した。



- ・10 時より試合開始。昼休憩(12 時～13 時)をはさみ、午前中は予選リーグ 3 試合、午後は決勝トーナメント 4 試合が、それぞれ団体戦、個人戦同時並行という形で行われた。

・第 9 回目を迎えた今年度は、昨年度からのよい流れを受け参加校数は微増（2 校増えて 19 校）ながらも、選手数は大きく増加した（31 名増）。試合内容もハイレベルな内容の試合が相次ぎ、より一層の選手の技量アップが確認できた。特に午後の決勝トーナメントでは白熱した試合が展開された。いずれも各学校での日ごろの取り組みが反映されたものと考えられる。

- ・また、昨年度まで行われていた「幼児の部」は、本年度については他行事と重なっている幼稚園保育園が多かったため、開催を見合わせた。
- ・小学校の部では、団体戦は西池小学校 A チーム、個人戦では山田沙弥選手（田野小）がそれぞれ優勝した。

## 【今大会の特徴】

### ①運営・演出面

- ・大会運営に当たっては、例年同様宮崎中央ロータリークラブの「協賛」をいただいたが、本年度も同クラブ傘下の青年組織である「宮崎中央ローターアクトクラブ」に大会の事前広報活動（宣伝パンフレット、新聞形式のかたるた通信(計 2 回)等の宣伝メディアの発行、配布）や当日の運営の主要業務を担当していただいた。
- ・また、今年度から要所に BGM をかけるなど、演出も凝ったものとなり、おおよその好評を得た。
- ・昼休みには、サプライズ演出として、「ひむかかかるたの歌」を作詞・作曲したシンガーソングライターの大野雄太さんによるミニライブと、宮崎県のゆるキャラである「みやざき犬」によるトーナメント組み合わせのプレゼンテーションを行い、好評を博した。

## ②参加学校について

- ・小学生の部における参加校数については、昨年度の17校からさらに2校増え19校となった。今大会の参加はかなわなかったものの、日ごろからかるたに取り組んでいる学校は市内だけでも20を超えており、近い将来大会参加校数も20を超えるものと期待している。また、今年度は宮崎市域を超え、日向市より日向市立平岩小学校の参加が実現した。

## 【今後に向けて】

- ・平成27年度は市内小学校との協力事業をさらに充実させることができた。まず、協力校として昨年度の小戸小学校、西池小学校、大宮小学校、宮崎小学校、高岡小学校、大塚小学校に加え、潮見小学校、江平小学校、穆佐小学校、宮崎大学教育文化学部附属小学校にもご協力をいただいた。この10校には今後の普及活動における中核を担うべく、平成28年度以降も協力いただく予定である。)。また、新たに「ひむかかるた教育研究会」(会長・高山秀典)を立ち上げ、ひむかかるたを用いた教育プログラムの研究や、指導方法の研修などを行った(6月、10月に開催)
- ・今大会の盛況ぶりからもあきらかなように、「ひむかかるた」は市内の各小学校に確実に普及しはじめている。ひむかかるた協会としては、宮崎の教育文化として同かるたがより定着・普及していくことを目指し、今後も活動を続けていきたいと考えている。その中で大会への参加校数の増加は、大変重要な課題であり、平成28年度においても、事前宣伝や出張指導の強化などの対策を確実に講じていきたい。

## 競技風景



## 宮崎銀行との協力

平成 27 年度業界研究セミナー講師派遣（宮崎銀行）

本学が実施した業界研究セミナーに、行員の講師を派遣してもらった。

- (1) 実施日 平成 28 年 1 月 12 日（火）
- (2) 参加者数 30 名

平成 27 年度インターンシップへの参加（宮崎銀行）

※ 公募

- (1) 実施日 平成 27 年 9 月 17 日（木）、18 日（金）： 2 名  
平成 27 年 12 月 28 日（月）、29 日（火）： 7 名  
平成 28 年 2 月 18 日（木）、19 日（金）： 4 名

- (2) 参加者数 計 13 名

平成 27 年度『インターンシップ論』講義の講師派遣（みやぎん経済研究所）

本学が実施した『インターンシップ論』講義に、行員の講師を派遣してもらった。

- (1) 実施日 平成 27 年 5 月 28 日（木）
- (2) 参加者数 83 名

平成 27 年度インターンシップへの参加（みやぎん経済研究所）

- (1) 実施日 平成 27 年 8 月 31 日（月）～ 9 月 4 日（金）
- (2) 参加者数 6 名

平成 27 年度企業見学バスツアー

- (1) 実施日 平成 28 年 1 月 15 日（金）
- (2) 参加者数 19 名



※協定に基づくもの

平成 27 年度「キャリア設計 I」のみ  
卒業生を講師として派遣してもらう

- (1) 実施日 平成 27 年 5 月 26 日(火)
- (2) 参加者数 187 名

## 宮崎商工会議所との連携協力

### 1 みやざき観光・文化検定

宮崎商工会議所が主催して実施した「みやざき観光・文化検定」に対して、次のような連携協力を行った。

- ・試験会場として学内施設を提供（平成 27 年 12 月 20 日実施）

### 2 日商簿記検定

日商簿記検定の試験会場として、学内施設の提供を行った。

- ・第 140 回検定 実施日：平成 27 年 6 月 14 日
- ・第 141 回検定 実施日：平成 27 年 11 月 15 日
- ・第 142 回検定 実施日：平成 28 年 2 月 28 日

## 宮崎日日新聞社との連携協力

2015年6月23日、株式会社宮崎日日新聞社と包括連携協力に関する協定を締結しました。

本学と宮崎日日新聞社（以下、「宮日」）は、相互に連携協力し、互いの資源やコンテンツ、ノウハウを有効に活用して学生の教育の充実を図り、地域社会の発展に寄与することを目的とし、包括的連携協力に関する協定を締結いたしました。



本学では、学生が時事問題や地域の課題について関心を高めるため、新聞を活用した講義（※）を設け、宮日からは、その講義に、記者などを講師として派遣していただくこととなっております。

※平成27年度後期「時事問題ガイド」（主に1年生対象科目）

平成27年10月2日～平成28年1月22日 15回講義を実施